

公職選挙法違反事件の検証及び再発防止 並びに市長の説明責任を果たすことを求める決議

先般の佐伯市長選挙をめぐり、前副市長の菅隆久氏、阿部邦和氏の両名が公職選挙法違反の疑いで逮捕されたことは、市民に大きな衝撃と不安を与え、市政に対する信頼を著しく失墜させた。

また、前副市長からの集票行為の要請は幹部職員への範囲に留まらず、幹部職員がさらに一般職員へ要請を行ったとされる新聞報道等もなされており、事件は組織的な拡がりも懸念される事態となっている。

田中市政を支えてきた両副市長の逮捕という前代未聞の事態に対して、市長は自らの関与は否定しているものの副市長が逮捕されたという事実のみをもってしても、任命権者である田中市長の道義的責任が問われることは明らかであり、まずは市長自らの責任の取り方を示すべきである。

市においては、現在、事件の全容解明に向け、警察の捜査へ全面的に協力することを明らかにしているところであるが、市政に対する信頼回復のため、市としても事件の検証を踏まえた再発防止策の取りまとめ、関係した職員への厳正な処分を行い、これら経緯等を公表し説明することにより、市民に対しての説明責任を一日でも早く果たされることを強く要望する。

佐伯市議会としても、議会の役割と責任を深く認識し、市と議会の両輪で議論を重ねて、市政への信頼回復に全力を挙げて取り組むことをここに誓うものである。

以上、決議する。

令和3年6月7日

大分県佐伯市議会